

2011年12月22日
No 1135号
働くルールの確立で
人間性の回復を

明治乳業争議団 ニュース

発行先 明治乳業争議団
〒272-0015
千葉県市川市鬼高2-6-2
☎・Fax 047-332-5698
E-mail mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp
HP 明治乳業争議団 → 検索

都労委「全国事件」春には命令

勝利命令で 長期争議終結の年に!



明けましておめでたいです。
本年は28年目に入った明治乳業争議を、都労委で命令を勝ちとり、話し合いで解決させる年です。すなわち「明治乳業争議団の春」を呼び込む年です。

明治は「学校給食用牛乳」「粉ミルク」にセシウムが混入する重大事件をおこしました。

しかし、明治は牛乳の放射線検査と公表を拒否しています。この不遜の態度に

新しい年を迎えました。
明治乳業争議を終結させる年です。

春には都労委「全国事件」に命令が出ます。なんとしても勝利命令を引き出し、これを武器に明治HDと株明治を攻めつづす年にしましょう。

昨年は、東日本大震災と原発事故という困難ななか、まづ4月の事業再編前に解決せよと全力を傾注。その後は株主総会、社前抗議・要請行動を重ね、みなさんのご支援で会社を大きく社会的に包囲してきました。

都労委への要請も毎月実施。退任する公益委員のもとで結審、命令着手にまでこぎ着け

危険し警告を発していたセシウムが明治の製品から検出されましたが、放射能から国民、特に乳幼児・子どもらの「食の安全」を守ることに力を注いだ一年でした。

今年は、昨年の運動をさらに発展させ、救済命令への団体署名をはじめ勝利を不動のものにする運動に知と力を出しきる決意です。

旧年に倍する、みなさんのご支援、ご協力をお願いいたします。

明治乳業争議団

市川市議会議員 清水みな子さん

今年「こそ」勝利の年というスローガンを幾度、聞いたことでしょうか。今年こそ本物にする年にしたいですね。私と明乳争議団のお付き合いは本当に長く、救済会本部に勤務(1986年)した時から始まっていま

私と明乳争議



清水美奈子市議

だいたい。市川には応援している人が大勢いることを忘れないで。

本社や社長宅への要請行動、株主総会への参加、旗開きや各種集会など。私は市議になる前に、市川でよい芝居をみる会事務局長をしており、明乳の仲間にも呼び掛け、福井さんや平木さんに運営委員に入ってもらいました。そこで平木さんが稲毛・浅間神社でお神楽を舞っているのを知り、広めるきっかけを作り、いまや新年会では、どこでも引っぱりだこ。争議を支援する文化の夕べや救済美術展なども一緒に取り組んできました。

四半世紀に及ぶたたかいのなかで、亡くなった仲間もたくさんいます。最後の最後まで「たたかいの人」の誇りをもってたたかってください。

長期争議を闘いぬいてきた明治乳業争議団 全面解決に向けた財政確立へのご協力をお願い致します

貴団体・各位のご奮闘に敬意を表すると共に、明治乳業争議への日頃からのご支援・ご協力に、改めてお礼を申し上げます。

さて、明治乳業争議は、全国事件(9事業所32名)からでも17年が経過し、市川工場事件(32名)からでは27年目となる長期争議ですが、全国争議が11月30日に結審となり、私たちはいま、年度内(3月)命令を念頭に、文字通り27年間の思いを凝縮した闘いを短期間に集中し、都労委に「勝利命令

を求める」新たな団体署名の全国展開や、集中的な要請行動など、求められる全ての課題を一気にやり切り、なんとしても2012年の早期に全面解決への道筋を切り拓く決意です。つきましては、首都圏と全国規模での闘いの飛躍を支える財政として、標記「全面解決に向けた財政確立」へのご協力を、率直に訴えさせて頂く次第です。誠に勝手ですが、年内から年頭早々を目処としてのご協力を重ねてお願い申し上げます。

ちょっといいお話し

11月29日早朝、全労連会館で行う「1.29総決起集会」に向けて、福岡から羽田行きの日本航空に乗った。

「赤旗新聞」に眼を通していると、「あー、赤旗を読んでいたらいいですねー」と客室乗務員から声をかけられた。「えー」と答えると「日航争議ではお世話になっています」と話しかけられた。

「先日、福岡で行われた日航争議支援の決起集会にも参加し、デモ行進もしましたよ」という私の返事に、周りを気にすることなく「ありがとうございます。頑張りますから今後もよろしくお祈りします」と爽やかな笑顔に元気をもらった。

私たちのこの日の集会所も、会場をあふれる参加者で、大きな力をもらう一日となりました。頑張ります。

福岡争議団 後藤



市川工場申立人

二瓶忠良さん

団員の横顔



二瓶忠良

会津磐梯山は宝の山よ♪と小原庄助さんで名高い会津出身。何事も嫌と云えず引き受けてしまうオットリ型の二瓶ちゃん。しかも怒った顔姿を見たことない、すべて飲み込んでしまう性格のようだ。しかし、こと上司からの理不尽な扱いには毅然とした態度を貫き、仕事にも活動にも黙々と取り組むそんな彼だから信頼も厚く、職場代議員として要求活動の先頭に立ってきた。

また、地域においても存在が広く、職場活動の経験など踏まえ信条をもって、日本共産党から市川市会議員に出馬し見事当選。それ以来議員活動に専念してきました。3期を務めあげ2011年の改選時に後任にゆずり、4月から争議団の闘いの一人として復帰、明乳本社前など宣伝マイクを握り訴える姿は頼もしい限りです。これまでの議員活動で培ってきた実績において、地域から要望があれば足を運び、争議団の行動と合わせての活動で飛びまわっている。争議解決の暁には、「朝寝、朝酒、朝湯」とまではいかないにしても、ゆったりとした時間がほしいようです。

放射能の検査を行わないとしてきた『(株)明治』の責任は重大

12月6日、明治乳業の粉ミルク「明治ステップ」から、1キロあたり30・8ベクレルの放射性セシウムが検出されたことがわかりました。セシウムが出たのは、埼玉県春日部市の工場で震災後、2011年3月14日から20日までの間に加工されたものだと言われています。

汚染が明らかに！

報道の中には、明治が独自に検査したように受け取れるものがあります。しかし、NHKの報道では、消費者の指摘があり、(株)明治も検査をした結果だとしています。重大なことは、こうした指摘がなければ、会社自らも掌握することなく、全品消費されても公表されることもなかったという現実です。そして、他の商品は大丈夫なのかという疑問が残ることです。



たしかに、政府の暫定基準値以下ですが、国際基準の10ベクレル(ドイツでは子供は4ベクレル以下)と比較すれば、3倍以上の高い汚染です。放射能は、子供たちが大人の10倍も被曝しやすいと言われ、乳幼児を持つお母さんたちの不安はとて深刻です。

他の商品は大丈夫か？

問われる食品企業の安全意識！

「(株)明治」は、このたびの放射能汚染の原因は、「乾燥させる加工工程で、大気中の放射性セシウムが入り込んだ可能性がある」として、まるで他人事のような発表をしています。そこには製品に対する安全意識がまったく見られないことです。責任は東京電力にも当然あるもののその内容は「想定外」と、どこかで聞いたような態度です。すると、牛乳をはじめ他の商品もこうした無責任な姿勢で造られ、放射能に汚染されているかも知れません。そして、その商品を製造している会社自らも汚染状況を把握することなく販売していることになりま。

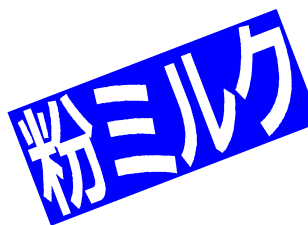


乳業メーカーは、独自検査の実施と数値の公表を！

すでに大量に摂取してしまっただ子供たちのことを思うと「(株)明治」の責任は重大で、安全意識の欠落は食品企業として許されるものではありません。各乳業メーカーは、これを教訓として放射能汚染の検査を徹底的に行い、その数値を全商品に添付し公表すべきです。できれば消費者は、その商品を食べるか食べないかの選択の自由すら奪われてしまうのです。政府は暫定基準値を公表する傍ら、できるだけ放射能に汚染された食物を摂取しないことも

呼びかけているのです。子供たちは、毎日、学校で半強制的に牛乳を飲まされています。そして放射能のリスクは5年、10年、20年先に襲ってくるのです。

子どもたちの安全と未来のために「明治ステップ」から放射性セシウムが検出 牛乳は本当に大丈夫なのか…



報道の中には、明治が独自に検査したように受け取れるものがあります。しかし、NHKの報道では、消費者の指摘があり、(株)明治も検査をした結果だとしています。重大なことは、こうした指摘がなければ、会社自らも掌握することなく、全品消費されても公表されることもなかったという現実です。そして、他の商品は大丈夫なのかという疑問が残ることです。

公益委員の積極的な審査指揮による結審

都労委の審査開始から6年が経過し、3年余の証人調べが続いた全国9事業所(32名)の事件が、昨年11月30日に結審となり、今春にも命令が見通せる重要局面を迎えました。



総決起集会(全労連会館)

この結審は、審査終盤で「担当公益委員が2011年11月30日で退任」という緊迫した状況の中で、申立人らの「審査を指揮し心証形成がなされている現公益委員が命令に責任を持つべき」との要請を審査課及び現公益委員が積極的に受けとめ、「任期中に結審して命令に責任を持つ」との積極的な審査指揮によるものです。その結果、1ヶ月余の短期間で最終準備書面の提出が迫られる等、極めて厳しい闘いでしたが弁護団・争議団の奮闘によって、事件の全体像を改めて鮮明にする最終準備書面の提出も成し遂げての結審です。

全面解決に直結する救済命令を求めての総決起集会！

争議団と支援共闘会議は、闘いによって切り開いた都労委結審の局面を重視し、必ず救済命令を獲得し、全面解決への道筋を一気に切り拓く決意で奮闘しています。昨年11月29日開催の総決起集会(全労連会館)には、会場一杯の243名が参加し大きく成功しました。主催者挨拶で松本悟支援共闘会議議長(千葉労連議長)は、(株)明治の異常な企業体質を厳しく告発し、「勝利命令を獲得し一気に解決を迫ろう」と決意を込めて挨拶。全労連の小田川事務局長、東京地評の伊藤議長からも、長期争議を頑張つて闘っている争議団の奮闘にふれながら、「全面解決をめざして総力を結集しよう」

団体署名・要請行動など課題を全てやり切り必ず勝利を！

争議団と支援共闘会議は、年度内(3月)命令を視野に、救済命令に向けて求められる全ての課題を短期間にやり遂げる決意です。①救済命令を求め都労委への団体署名(当面、2月までに5千団体)を一気に取り組む。②都労委審査課への要請行動を質・量ともに強める。③放射能汚染問題での異常な明治の対応を告発し、包圍・孤立させる闘いを強めるなど、なんとしても全面解決への道筋を切り拓く決意で頑張ります。



救済命令を求め団体署名へのご協力を！

都労委結審を受け、改めて、団体署名「明治乳業事件への救済命令を求める要請書」を急ピッチで取り組んでいます。12月第一次、新年1月第二次、2月第三次を当面する目標の節目に、5000団体をめざします。貴団体の末端組織までのご協力を切

負けるもんか！



総決起集会(全労連会館)

